

「Revoria Press GC12500」 drupa 2024 で欧州の展示会において初めて展示 世界初、乾式トナー方式による B2 サイズ枚葉デジタルプレス

2024 年 3 月 25 日

富士フイルムグループは、5 月 28 日からドイツ・デュッセルドルフで開催される、世界最大規模の印刷・メディア産業展 drupa 2024 に出展し、世界初となる乾式トナー方式による B2 サイズ枚葉デジタルプレス「Revoria Press GC12500」を欧州の展示会において初めて展示します。



当社では、印刷市場に向け、業界最高水準の画像品質と印刷速度を誇る B2 枚葉デジタルプレス「Jet Press 750S」を水性インクジェット方式のフラッグシップ機として累計 300 台以上の販売実績があります。

Revoria Press GC12500 は、乾式トナー方式での対応サイズを A3 から B2 に広げた商品で、生産効率、高いスキルを必要としない操作性、メディア汎用性を強みとします。これらの特徴と高い印刷品質とを両立した本商品を B2 機ラインナップに加えることで、デジタル印刷市場の拡大を加速させます。

本商品は、デジタル B2 機市場では最大となる B2XL サイズ※¹（750mm x 662mm）用紙に対応しています。A4 サイズが最大 6 面付け可能であり、A4 250ppm の高い生産性を発揮します。ポスター等の大判アプリケーション以外にも小サイズアプリケーションの効率的な多面付けが可能になり、生産性の向上に貢献します。また、給紙部/排紙部とマシン操作パネルを 1 か所にまとめたオリジナルの構成は、印刷オペレーターの日々の作業性や生産性を格段に高めます。



多くのお客様に利用頂いている POD 機と同様、特別なスキルを必要とせず B2 印刷を可能にすることが、乾式トナー技術で B2 デジタル機を開発した最大の理由です。またメンテナンス性の向上、定期作業の最適化を図る事でダウンタイムの最小化も実現しています。

これまで乾式トナー技術では B2 用紙への印刷は困難とされてきましたが、その実現のため独自の新技术も搭載しています。定着部や現像機の機構を新たに開発したことで、印刷工程で用紙へかかる負荷を軽減し品質や画質を高めています。新たな技術により、最大用紙サイズを B2XL まで拡大した上で、用紙坪量も 64g/m²から 450g/m²まで自動両面に対応しました。乾式トナーの強みでもある幅広い用紙対応力^{※2}と併せ、適応するアプリケーションの幅を広げます。

drupa 2024 の出展ブースで本商品を「Jet Press 750S」とともに展示する予定です。乾式トナー方式とインクジェット方式の B2 デジタル機を唯一有する富士フイルムのデジタル印刷技術が導く幅広いソリューションと新たな印刷ビジネスの拡がり可能性をぜひブースにてご確認ください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

※1：一般的な B2 サイズ（728mm×515mm）を上回る当社独自の用紙サイズ

※2：特殊用紙の使用には、一部制限あり

※プレスリリースに掲載されているサービス、商品名等は各社の登録商標または商標です。